

誤食注意！毒と薬は紙一重

ハシリドコロ (ナス科) 有毒



Scopolia japonica Maximowicz

部位	根茎および根
生薬名	ロートコン 局方収載
成分	アトロピン、スコポラミン (トロパンアルカロイド)
薬理	副交感神経遮断作用、瞳孔散大、幻覚
用途	ロートエキス又は硫酸アトロピンの原料
漢方	使用されない

日本の本州、四国、九州の湿り気のある林床などに分布する多年草。3月ごろに芽生え、4月ごろに花が咲き、7月には地上部がなくなり休眠します。新芽の茎と葉は柔らかく、山菜として利用できるように見えます。しかし、1、2枚の葉を食べると中毒をおこし、幻覚に襲われ走り回ることからハシリドコロと名付けられました。また、江戸時代の本草学者である平賀源内が中国のヒヨス（ロウトウ 莨菪）に似ていると考え、ロートと名付けました。ロートエキスは、内臓平滑筋の痙攣や胃酸分泌を抑える作用があるため胃腸薬などに配合されています。

モモ (バラ科)

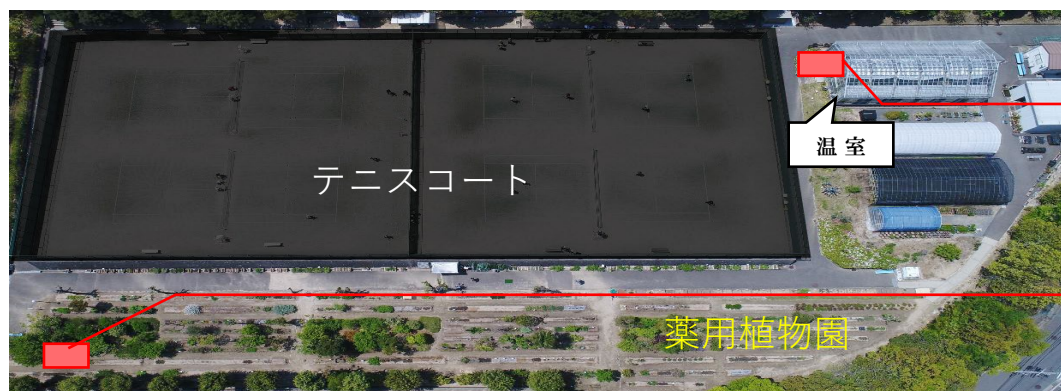
昔から愛された桃は、薬としても実力たっぷり

Prunus persica Batsch

部位	種子
生薬名	桃仁（トウニン） 局方収載
成分	青酸配糖体のアミグダリン、多量の脂肪油
薬理	抗炎症作用、抗アレルギー作用、抗菌作用
薬能	駆瘀血薬、潤腸薬
漢方	桂枝茯苓丸、桃核承気湯、潤腸湯など



中国の黄河上流域原産の落葉小高木。食用果樹として広く栽培されています。古来から邪鬼を祓う果物とされてきました。桃太郎の由来もここにあります。桃の節句についても調べてみれば多くの発見があると思います！ 民間的には、少し開いた白い花を下剤（強い下剤なので注意が必要）に用いたり、すり潰して、ニキビやソバカスに塗布したり、葉を入浴剤にしたりと広く利用されてきました。漢方では、種子（トウニン）が桂枝茯苓丸や桃核承気湯などに配合され、血の滞りを改善します。これらの薬は、女性に使用する頻度が多く、桃に神秘的な魅力を感じます。



モモ

ハシリドコロ



ホームページでも
ご覧いただけます